

Japan Open (50m)

監督者会議資料

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ(倦怠感) 息苦しさ(呼吸困難)
 - ・ 臭覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 「健康チェック表」「感染防止対策チェックリスト」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内では、マスクをはずしてもよいが、会話を控えること。招集所ではずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (5) 競技終了後、更衣室で水気を取り、マスクを着用し、室内履きを履いてから移動すること。
- (6) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。(レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時)
- (7) 食事は、選手控え場所・観覧席のみで、人との距離を保ち単独で行うこと。
- (8) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (9) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット(個人専用は持ち込み可)
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具(個人専用は持ち込み可)
 - ・ 練習時のパドル・コード類

1 競技について

- (1) 本競技会は、2020年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝ともに8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 女子1500m自由形・男子800m自由形はタイムレース決勝とし、最終組は決勝時間に行う。
※ 800m自由形・1500m自由形は、組み替えを行う場合があるので注意すること。
- (4) 決勝は、予選結果上位8名が出場できる。ただし棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。

- (5) 決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし、女子 800m 自由形・男子 1500m 自由形については、抽選で優先順位を決定する。
- (6) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は 2 名とする。
- (7) 招集は、競技開始 10 分前から行う。本人確認のため、招集所には A D カードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、9 時 10 分までにリゾリューションデスクに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は、棄権料 3,000 円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金 3,000 円を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内に、棄権料 3,000 円を添えて招集所に届け出ること。
- (9) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。ただし、決勝 1 位の選手は自分のレーンから退水し、直ちにフラッシュインタビューを受けること。
- (10) 800m 自由形・1500m 自由形の周回通知は、水中ラップカウンターを使用し、コールは行わない。
- (11) 公式計時 S E I K O による計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (12) 選手紹介は、予選は各レーンで紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (13) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (14) 本大会は、J A D A によるドーピング検査の対象となるので、常に A D カードを携帯すること。

2 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。ただし、上位 3 名については、優勝者のフラッシュインタビュー後に、インタビューボードの前で写真撮影を行う。
- (2) 1 位から 3 位にメダルならびに賞状を、4 位から 8 位に賞状を授与する。
- (3) 賞状の贈呈、I D カードによる記録証の発行は、インフォメーションデスクで行う。
※ 記録証の発行時間：10：00 から予選終了後 1 時間、決勝競技開始から決勝終了後 30 分。

3 全体スケジュール

日 時	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
2 月 3 日 (水)	公式練習日	11：00	練習時間 11：00～18:00				18：30
2 月 4 日 (木)	1 日目	7：20	9：30	12：15	16：00	17：15	18：00
2 月 5 日 (金)	2 日目	7：20	9：30	11：50	15：00	17：40	18：20
2 月 6 日 (土)	3 日目	7：20	9：30	11：35	15：00	16：45	17：30
2 月 7 日 (日)	4 日目	7：20	9：30	12：35	15：00	17：05	17：50

4 プールの使用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、練習時に各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も、人との距離を保つこと。練習時の大きな声での指示は控えること。メインプール・サブプールとも、練習中は電子ホイッスルのみ使用可とする。

(1) メインプール

- ① 水深は3 m、水温は27.5℃に設定する。
- ② 練習は競技開始15分前までとする。
- ③ 昼休みの練習の後半2時間は、当日の決勝の出場者のみとする。
- ④ 0・9レーンはダッシュレーン、1・2レーンはペースレーンとする。
- ⑤ 0レーンのスタートは、折り返し側から、9レーンはスタート側からの一方通行とする。

(2) サブプール

- ① 水深は3 m、水温は27.5℃に設定する。
- ② 4レーンはダッシュレーンとする（バックストロークレッジを設置する）。
- ③ 8レーンはペースレーンとする。

5 水泳場の使用について

- (1) ADカードを持っている選手・関係者以外は入館できない。
- (2) 前日練習日を除き大会期間中7：20～11：30の入場は、大会当日に出場する選手のみとし、その他の選手は、11：30以降の入場とする。この入場制限については、入口でAD確認を行う。感染予防のため、11：30以降に入場した選手の食事は、観覧席で単独でとること。
- (3) サブプールの選手控え場所については、感染症防止のため、大会当日出場する選手のみを使用とする。
- (4) 選手席・付添席は、全団体ともエリアを設定する。動線を守ること。
- (5) メインプールを使用した際は、更衣室で水気を拭き取り、マスクを着用して、通路に出ること。感染拡大防止の観点から、通路は上履きで通行すること。（裸足の通行は厳禁とする）
また、土足でのプールサイドへの立ち入りは厳禁とする。
- (6) 入館は、1階からとする。2階正面ゲートは使用しない。
徒歩で来館した場合は、第4ゲートから入り、東側入口から入館すること。バスで来館した場合は、西側入口から入館すること。
退館は、東側入口・西側入口とも終日可とする。
- (7) 入館前に手指の消毒、検温を受け、発熱がないことが確認できたら入館する。入館時の検温で37.5以上あった場合は、別の場所で再度検温する。その結果、37.5度以上あった場合は入館できない。
一時外出し再入館する際も、手指の消毒、サーモグラフィーでの検温を受けること。
- (8) 「健康チェック表」、「感染防止対策チェックリスト」の提出について
 - ① 日水連ホームページからダウンロードした「健康チェック表」「感染防止対策チェックリスト」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日入館時に提出、「感染防止対策チェックリスト」は、来館初日のみ提出すること。
 - ② 公式練習日、大会期間中とも、外出後および決勝競技時の再入館の際は、入館口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。
 - ③ 「健康チェック表」の体温・体調については、入館2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
 - ④ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。
- (9) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償（3,000円）にて再発行を受けること。
ただし管理者、付添者のADカードは再発行しない。
- (10) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (11) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2 m以上）をとって行動すること。選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。赤のテープのある着席禁止場所には座らないこと。

- (12) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。従って、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。
- (13) マッサージベッドは、入館日から2月7日まで、2階エントランスのマッサージエリアに1チームにつき1台置くことができる。
- (14) 泳ぐとき以外は原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど）。レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない）。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。
- (15) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (16) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (17) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (18) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。拍手・手拍子、スティックバルーンの使用は認める。
- (19) 飲食については、指定場所以外で行わないこと。食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにし、食事中の会話は控えること。ドリンクの回し飲みはせず、飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- (20) 選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。ミーティング等は控えること。

6 注意事項、その他

- (1) 決勝競技の優勝者は各競技終了後に、フラッシュインタビューを行う。
- (2) 決勝時・撮影時のビブスゼッケン着用義務を順守すること。
- (3) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (4) テレビ朝日の放送予定

テレ朝チャンネル2・アベマにて全決勝レースを生中継

2月4日（木）	16：00～17：45
2月5日（金）	16：00～18：00
2月6日（土）	15：00～17：15
2月7日（日）	15：00～17：30

地上波 2月7日（日）深夜1：25～『GET SPORTS』にて放送

- (5) インターネット配信
全日の予選競技を、YouTube にてLIVE 配信する。
- (6) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。
 - ① SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<https://sp.j-swim.jp/>)